

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812011	事務事業名	動物園管理運営事業費			
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	徳山動物園	事業の目的(意図)	周南市最大の情報発信・交流拠点として、動物園に年間30万人を超える来園者を迎える体制を確保することで、その役割を果たすことができる。
事業の内容(手段)	【事業概要】動物園を交流拠点施設として、社会教育施設として、管理運営を図ります。 【主な内容】入園者の受付、駐車場の整理、予算管理執行、開園のための勤務体制の確保、施設の維持・保守点検、事業を告知するための広告宣伝、入園料収入以外の財源の確保		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	徳山動物園の入園者数	年間延べ人数	人	目標値	380,000	300,000	320,000
			実績値	288,320	308,265		
			達成度(%)	75.9%	102.8%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	98,990	77,030	80,177	87,577
うち一財		千円	51,425	45,354	48,275	47,405	48,000
(決算額)	直接事業費	千円	93,372	74,537		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	44,126	48,238			
	正職員人件費	千円	22,998	19,105			
	人工数	人	3.11	2.58	3.07		
	支出コスト	千円	決) 116,370	決) 93,642			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	入園者数は、昭和35年の開園以来、年々増加していたが、施設の老朽化やレジャーの多様化により徐々に減少した。その後、増加と減少を繰り返している。平成27年度は、動物園のリニューアル事業に伴う新施設(るんちゃ♪るんちゃ)の事業開始もあり、再び30万人越えの入園者数を記録した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 施設の老朽化が進む一方で、段階的に効果的なリニューアルを進めながら市内最大の情報発信、観光交流拠点施設として、年間32万人以上の入園者の受入体制を確保する必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	財源確保のため、入園者の増加による入園料の増収に加え、園内での投げエサ販売、新たな園内グッズの販売等を実施している。今後は、動物園のリニューアルを進めていく中で、入園料についての見直しを検討する必要がある。	評価責任者コメント	市内最大の交流施設であり、コンベンションセンターを推進していくためには欠かせないものである。施設も古く、様々なことを改善していく必要はあるが、リニューアル事業の進捗状況に併せて、適時対応しながら、安定的な入園者を確保できる体制づくりをしていくことが必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
①リニューアルによるサービス向上に見合う入園料の改定(値上げ)を実施する。 ②環境清掃業務において、園路清掃にスイーパー(自動床洗浄機)を導入するなど業務内容を見直す。 ③老朽化した売店・軽食ブースを改修し入園者の利便性を図り、増収につなげる。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設管理業務	観光交流施設として入園者の増加を図る	園内施設管理事務(予算管理、臨時職員雇用、駐車場整理)	59,962	1.98	0.60	
				否			
②	窓口入園券発売業務	入園者に快適に過ごしていただくための対応を行う。	入園券の発行、入園案内、観光情報等の提供、入園料収入以外の財源の確保	6,059	0.34	3.10	
				否			
③	環境整備業務	観光交流拠点として、快適で安全な施設の維持管理を行う。	園内環境の整備、管理実施	4,039	0.24	2.00	
				否			
④	各種契約業務	安全な施設の維持管理を行う。安心安全な低コストの飼料を安定的に確保する。	施設管理等の委託契約、動物用飼料の購入契約、堆肥化プラントの活用	151	0.33	0.00	
				否			
⑤	入園者増加対策業務	動物園全体として魅力ある取組みを広報することで、来園者の増加を図る。	行事等の広報活動、効果的な情報提供のための手段等の検討	4,326	0.18	0.10	
				否			

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812014	事務事業名	動物園教育普及事業費			
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市を含む近隣住民。特に徳山動物園に入園した方、動物園の情報を得た方。	事業の目的(意図)	幼児・児童をはじめとする入園者等が、「自然環境」・「いのち」について体験し、学ぶことができる。
事業の内容(手段)	【事業概要】未来を担う子どもたちを育むために、命あふれる動物園で、子どもたちが生き物について、学習し体験する機会を提供します。 【主な内容】各種コンクールの開催、歳時記的行事の実施、団体向け動物ふれあい体験、動物園学習支援ボランティアのサポート、学校と連携した総合学習、職場体験への取り組み、動物展示館を利用した企画展示の開催、骨格標本やはく製など標本資料の収集		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
教育イベントの延べ参加者数等	参加者数等		人	26年度	15,000	15,000	15,000
				27年度	15,447	15,076	
				28年度	103.0%	100.5%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
			直接事業費	千円	912	912	900
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	751	870		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	26,030	28,213			
	人工数	人	3.52	3.81	3.49		
	支出コスト	千円	決) 26,781	決) 29,083			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	子ども達が生き物と接する機会が、今後、減少していくと予想される社会変化の中、命や自然へ対する概念が未発達であることは、社会的にも問題視されている。このことより、動物園が命と接する機会を提供していくことは、今後重要になっていく。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 子どもたちへの命の大切さの学習普及を進める中で、併せて親にも理解してもらうための働き掛け(例:わかりやすい学習内容の明確化、教育普及事業の整備)を行う必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	学習体験や動物体験プログラムの実施は、特定の時期に集中するケースが多く、他の業務との兼ね合いから、すべてのニーズに対応できていない状態であるため。
	事務事業の方向性	入園者からのニーズ、学校からの要望などに対応していくためにも、学習内容の明確化、業務実施手法の見直しを図り、わかりやすい業務体系を整備する。また、職員の人手不足を補うために、職員とボランティアの協働による取り組みの構築など新たな支援体制の仕組みづくりを検討する。	評価責任者コメント	命の尊さや大切さを幼少時代に教えることについて、社会教育、環境教育の場として動物園の果たす役割は、年々大きくなってきている。今後においては、レクリエーション機能を持ちながら学習機会も提供するよう事業の再構築を行う必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
新設される屋内施設である自然学習館を拠点に、これまで屋内でできなかった新しいイベント(担当職員による専門的な講義や子ども科学教室)を実施する。また併せて、これまで以上の小学校の利用促進を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	各種コンクール実施	動物をじっくり観察する機会を提供し動物への興味を喚起する。参加者1,800人。	絵画コンクール、粘土工作コンクールなどの主催開催	70	0.30	0.00	
				否			
②	動物園ボランティアの調整	ボランティアによる学習支援を促進させ、学習効果の向上を図る。述べ活動回数450回。	ボランティアの実施、研修、連絡調整等	50	0.22	0.00	
				否			
③	歳時記イベント実施	季節ごとにニュース性のある行事を実施する。行事の開催数12回。	さまざまな歳時記的イベントや時代に対応した新しい事業の実施	193	1.04	0.20	
				否			
④	学習体験関連業務(職場体験・実習など)	いのちの学習や職業感の醸成の機会を提供する。年間述べ受入人数60人。	実習の受け入れ、ゲストティーチャー、講演、サマースクールなどの実施	213	0.39	0.00	
				否			
⑤	学芸業務(展示・解説・資料管理など)	学習に供する動物の標本収集や整理管理を行う。標本作成10個、貸出回数10回。	剥製の作成、骨格などの標本作成、標本の整理管理	131	0.84	0.04	
				否			
⑥	ミニZOO・ちよこっとアニマル	動物とのふれあいを通じた体験学習の機会を提供する。100回5,000人。	ふれあいミニ動物園の派遣、団体を対象とした動物体験の受付実施	213	0.70	0.34	
				否			

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812017	事務事業名	動物園飼育事業費		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	徳山動物園の飼育動物	事業の目的 (意図)	展示動物を健康に飼育管理することで、動物園が維持される。動物の繁殖を進めることで、動物の子育ても観察できる。
事業の内容 (手段)	【事業概要】動物を健康的に飼育管理するとともに、動物の繁殖や購入等により、継続的展示の状態を確保します。 【主な内容】飼育・衛生管理、診療・治療、繁殖推進、調査研究、飼料の確保調達、調教、飼育技術の向上		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値	29	29	25
				実績値	28	31	
				達成度(%)	96.6%	105.2%	

事業 費	項目		単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費		千円	32,040	32,229	33,911	35,533	34,000
	(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
	直接事業費		千円	29,277	35,750		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額)	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費		千円	64,706	74,420			
		人工数	人	8.75	10.05	8.30		
支出コスト		千円	決) 93,983	決) 110,170				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	動物の飼育や繁殖は、動物園の維持管理において必要不可欠な業務である。特に、ゾウなどの希少動物は、適正に飼育されているか、社会的にも注目されている。このため、現場ではチームによる飼育担当制を導入し、毎年、作業体制の見直しを図りながら業務の遂行を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 動物の高齢化、繁殖に供する個体の導入困難や種類の減少、リニューアル工事を進める中での飼育スペースの確保など、動物繁殖を推進するための環境を整備改善していく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	動物園として、動物導入のハードルが高くなる中で、動物園業界内での信用の確立が動物の確保につながるため、飼育繁殖技術の確立と向上に努める。併せて、職員の専門的な研修や研鑽の機会を確保し、飼育技術の向上に積極的に取り組む職員を育成する。		評価責任者コメント	市民が誇りに思え、足を運んでいただく動物園にするためには、やはり魅力ある動物の飼育は欠かせない。希少動物の導入が困難な状況の中、当園では、アミメキリンの繁殖に連続して成功し、一定の成果を上げている。引き続き、飼育員の技術を向上させ、全国の動物園のためにも寄与したい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 飼料のうち、青果・野菜などは、取り扱う業者が少なく、市場価格の変動の影響が大きかったが、農家などの産地や生産者から直接購入することを進めることで、市場価格の高騰などの影響を除外し、飼料費を抑制する。	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	動物の飼育管理業務	飼育動物を健康的に飼育管理する。繁殖推進種での繁殖種数割合を3割以上。	動物舎の清掃、給餌、動物観察	8,154 否	6.01	1.10	
②	飼料準備に関する業務	飼育動物の飼料を予算内で確保する。	飼料の発注管理	24,990 否	0.46	0.40	
③	動物舎の施設維持営繕業務	飼育施設の維持管理を行い、動物の脱出や事故を防止し、安全な飼育管理を行う。	施設の点検、修繕	827 否	0.47	0.21	
④	飼育に関する調査研究業務	飼育技術を向上する。	飼育技術に関する研究、調査	783 否	0.48	0.06	
⑤	動物移動・飼育許可の調整業務	動物飼育に関する法手続きを適切に実施する。	随時申請、動物の高齢化に対処する追加導入等の検討	0 否	0.00	0.00	
⑥	獣医診療業務	動物を健康に保つように獣医衛生管理や診療治療を行う。	診療、検査、投薬、記録	704 否	0.88	0.00	
⑦	動物の仮設舎への移動	建設予定地内で飼育している動物を適切に移転させる。	リニューアル事業における飼育動物の移動、新しく導入する個体の調整	292 否	0.15	0.00	

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812032	事務事業名	動物園魅力拡大「ズー夢アップ21」実施事業費		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市を含む近隣住民。特に徳山動物園に入園した方、動物園の情報を得た方	事業の目的 (意図)	周南の里ふれあいゾーン(るんちゃ♪るんちゃ)での魅力的なソフト事業の展開により、さらなる入園者数の増加を図る。
事業の内容 (手段)	【事業概要】周南の里ふれあいゾーンのオープンに合わせて、「見るだけ」の動物園から「ふれあう、体験する」という新しい形の動物園の運営に取り組みます。 【主な内容】全天候下での小動物ふれあい体験、体験プログラム(ぼくぼくタイム、フライトショー、飼育体験)の実施、投げエサ販売による入園者と動物との関わりづくり、ICT-ZOO事業の推進、企画づくり推進のための職員育成		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					各体験などの利用者数	SNS等の利用者を含めた各々のサービス者合計	人
				実績値	724,097	1,400,274	
				達成度(%)	241.4%	466.8%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	7,452	8,302	14,398	16,173
うち一財		千円	0	0	1,508	0	1,500
(決算額)	直接事業費	千円	6,749	15,866		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	24,699	24,511			
	人工数	人	3.34	3.31	3.67		
	支出コスト	千円	決) 31,448	決) 40,377			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	多くの体験プログラムを実施したり、動物やイベントの情報を発信することで、年々、来園者と動物の距離感を縮めることができている。特に、ゾウなどの新規導入動物の対応やリニューアル事業である「るんちゃ♪るんちゃ」の供用開始が、入園者の増加につながっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 一時的ではなく、長年にわたり安定した入園者数を確保するための「実施事業のあり方」、「情報発信の方法」、「無料開園・夜間開園の考え方」を整理する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	新しいふれあいゾーン「るんちゃ♪るんちゃ」がオープンし、「見るだけ」の動物園から「ふれあう、体験する」という新しい形の動物園として充実した利用形態を整える。その際には、事業目標の設定についても、体験を重視した内容とし、情報発信については、別途評価するように変更したい。	評価責任者コメント	どこの動物園でも動物とのふれあいを当然のように実施している中で、新施設である「るんちゃ♪るんちゃ」では、全天候型いつでも体験できるサービスを行っている。これを有効活用しながら更に楽しめる体験型の動物園にしていかなければならない。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 多くの体験プログラムや企画展、イルミネーションの点灯など、新たな魅力的なソフト事業を提供するとともに、誘客効果の高いインフォメーションとしてLINEを使った攻めの情報提供を行なっていく。	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	周南の里ふれあいゾーン運営業務	全天候対応型の新規ソフト事業の展開により、更なる入園者の増加につなげる。	小動物とのふれあい体験	6,254	否	0.42	1.80
②	ズーわくわくサンデー	さまざまな動物体験を実施して顧客満足度の向上を目指す。体験者数60,000人。	体験プログラム(ぼくぼくタイム、フライトショー、飼育体験)の実施	782	否	1.07	0.55
③	動物情報の発信業務	動物情報を、詳しくマスコミなどに提供し、広報してもらう。取材数年間100回。	マスコミへの詳細な情報の提供、取材受け入れへの調整	588	否	0.91	0.20
④	投げエサの販売	投げエサを販売し、エサやりの体験を提供する。体験者数60,000人。	投げエサの販売	782	否	0.00	0.60
⑤	ホームページなどの維持管理	動物園情報を随時発信する。	ホームページの作成、管理、更新	67	否	0.46	0.00
⑥	無料開園・夜間開園	付加価値を付けた開園形態で、入園者の増加を図る。年間入園者の10%の入園者。	無料開園、夜間開園の実施、周知	588	否	0.77	0.10
⑦	ICT-ZOO事業	ICT技術を用い、新たな動物園の魅力を発信する。	ICT技術を使ったサービスの構築	6,804	否	0.04	0.00

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812039	事務事業名	動物園リニューアル事業費			
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	動物園施設	事業の目的(意図)	ふれあい舎等に続き、新しい施設の利用が可能となり、さらなる入園者数の増加が期待できる。
事業の内容(手段)	【事業概要】施設の老朽化に対し、計画的なリニューアルを行い動物にも人にもやさしい動物園を構築します。 【主な内容】リニューアルに係る補助金関係事務、入札手続き、工事監理・打合せ、中間及び完了検査等、周南の里ふれあいゾーンの建築工事、ゾウ舎整備を内容とした第2工区の基本設計		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	整備進捗率(補助事業費ベース)	執行割合		%	目標値	11.4	13.6
実績値					11.4	13.6	
達成度(%)					100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	269,556	209,387	843,532	611,021
うち一財		千円	49,156	66,887	79,032	78,521	53,400
(決算額)	直接事業費	千円	411,223	139,533		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	64,115	63,835		大規模工事を2箇年に平準化した。	大規模工事を2箇年に平準化した。
	正職員人件費	千円	3,550	3,554			
	人工数	人	0.48	0.48	0.34		
	支出コスト	千円	決) 414,773	決) 143,087			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	動物園リニューアルFS調査・基本設計構想の作成、基本計画の策定、基本設計を基にした建築実施設計の段階を踏まえて、平成25年度に国庫補助の内示を受け造成工事に着手した。平成26年度より第2工区の基本設計に着手し、平成27年度は、周南の里ゾーンをオープンした。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 事業費が大きく、長期的なプロジェクトであることから、継続かつ事業の進捗に沿った安定的な財源の確保が大きな課題である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	コスト削減に向けた工法や最適な工事スケジュールを組み立てる必要がある。	評価責任者コメント	動物園のリニューアル事業は、交流人口増加のための最大の切り札であり、多くの人の期待を背負った夢ある事業である。今後は、ゾウの繁殖に対応できるような新ゾウ舎の整備を進め、オンリーワンの動物園を目指し、適時対応していくことが必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
平成29年度の早期オープンに向けた工程調整を行い北園ウェルカムゾーン「自然学習館・野鳥観察所」の整備を進める。併せて北園ウェルカムゾーンのペンギンエリアの整備や南園のアジアの熱帯雨林ゾーンの新ゾウ舎の建築に、コスト削減のうえ着手し、更なる魅力増進を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	第1工区造成工事等	計画的なリニューアルを行い動物にも人にもやさしい動物園を構築する。	周南の里ふれあいゾーンの修景建築工事	126,233	否	0.07	0.00
②	第2工区基本計画策定	計画的なリニューアルを行い動物にも人にもやさしい動物園を構築する。	第2工区の基本設計	13,300	否	0.26	0.00
③	事業補助申請関連業務	全国初となる動物園の補助事業(社会資本整備総合交付金)を進める。	社会資本整備総合交付金の申請	0	否	0.01	0.00
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812035	事務事業名	基金管理事業費			
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	「ぞうさんの夢基金」の趣旨に賛同いただける市内外の方	事業の目的 (意図)	動物園運営に関して市民等からの財政的支援と、動物購入時における経費の平準化を図る。
事業の内容 (手段)	事業のPRを含めて園内等に募金箱を設置し、募金を募り、「ぞうさんの夢基金」へ積み立てる。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	ぞうさんの夢基金	基金積立額	円	目標値	3,000,000	3,500,000	4,000,000
			実績値	3,362,620	3,892,439		
			達成度(%)	112.1%	111.2%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2	2	2	2
うち一財		千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	521	530		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	296	296			
	人工数	人	0.04	0.04	0.04		
	支出コスト	千円	決) 817	決) 826			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成24年徳山商工会議所青年部による「ぞうさんプロジェクト」の立ち上げを受けて、ゾウ導入のための募金活動が開始された。その一方で、市は「ぞうさんの夢基金条例」を制定し、今後の動物導入の財源確保を図る体制を確立した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 今後の動物購入のためには動物園を広くPRし、財源確保を図る必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	この基金の目的はゾウに限らず、これから飼育を続けるために必要な動物を購入するものであり、継続して管理を続けていく必要がある。	評価責任者コメント	地域に愛される動物園を目指すためにも、動物購入における厳しい現状も含めて、「ぞうさんの夢基金」の趣旨をしっかりとPRして、少しでもこの事業へ賛同者を増やしていきたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
特になし	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	基金管理業務	適切な事務処理を行い基金へ積立てる。	基金の活用事務	530		0.02	
				否			
②	基金受入業務	動物導入に必要な財源確保への関心を高めるため、PR等を行い、財源確保を図る。	内での募金箱の設置及び募金の受入対応事務	0		0.02	
				否			
③							
④							
⑤							